



郵便はがき



まつだより

第8号
2023
新年号

ごあいさつ

「1人の人を大切に」の信念は、

4人の子育てで得た私の行動の原点です。

長期化するコロナ禍、平和を脅かす国際情勢、物価高騰による
市民生活への負担に加え、顕在化した様々な課題を乗り越えるため、

女性の視点を活かし、その解決に取り組んでいます。

誰一人取り残さない社会の実現へ!

「つながり支え合う希望の未来を拓く」との決意で、

これからも多様な人々の声を聴き、

魅力あふれる山科と京都の発展のために、全力で働きます!

まかせてください!
つなぎます!
だいじな声を、
カタチにします!

公明党
京都市議員

まつだ
松田けい子

〒607-8162 京都市山科区柳辻草海道町4-7 イーグルコート柳辻3アベックス202
TEL:070-2266-9499 FAX:075-330-6540 メール:omoiyari.km@gmail.com



公式サイト
<https://matsuda-keiko.com>



活動 レポート

京都市会9月決算議会、市長総括質疑に登壇



▶「誰一人取り残さない施策の充実」をテーマに、以下の項目について質疑を行いました。

1. 新型コロナ第8波にむけた対策の強化について
2. インクルーシブな公園・遊具について
3. 社会的養育経験者の自立支援について
4. 男性不妊治療について
5. 男性用トイレにおけるサンタリーボックスの設置について

「市民生活の向上」と「財政の健全化」へ責任持ち全力!!

～令和5年度予算要望を門川市長に提出～

▶公明党京都市議員団は、令和4年10月14日、門川市長に対し令和5年度予算編成に関する要望を行い、93項目を盛り込んだ要望書を提出しました。

議員団からは新型コロナウイルス感染症対策と物価高騰が市民生活に大きなダメージを与えていると強調。市民の命と暮らしを守るため、適切な予算措置を講じるよう求めました。

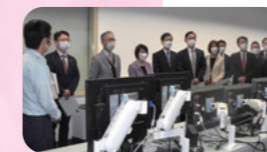
▶また、京都市の財政危機については公債償還基金の枯渇の回避の見通しは立ったものの、実質は基金等を取り崩して、赤字予算を組んでいることに言及。

▶公明党京都市議員団は、財政の健全化と市民生活の支える取組をバランスを取りながら、必要な人に必要な支援が届き、持続可能な市政運営が可能となるための予算編成を求めました。

▶門川市長からは公明党京都市議員団の要望を重く受け止め、令和5年度の予算編成に活かしていきたいとの考えが示されました。



視察調査 京都市消防指令センターへ



▶消防指令センターは、火災・救助・救急の119番通報の受付から、災害場所の決定、出動部隊の編成と出動指令など、消防活動の中枢を担う重要な施設です。そこで、公明党京都市議員団として、令和4年10月31日同センターを視察。増加する救急需要や、地震・風水害など大規模災害に対応するため、情報収集と情報共有機能、救急病院の収容可能状況等の把握など、機能強化された業務を視察するとともに、コロナ禍での救急活動における感染防止対策や救急搬送等の現状等について伺いました。最新のシステムと経験を活かし、市民の安心安全を守っています。

マニフェスト大賞の中の「ローカル・マニフェスト大賞 “議員・会派の部”」関西エリア選抜に認定

▶公明党京都市議員団は、子どもがどうしたら活躍できる社会になるか、そのためにSDGsとどのように関係し何をすべきかを6つの視点から考察した、「子ども未来創造都市・京都をめざして — SDGs の観点から —」を京都市に提言。(令和3年度政策調査研究)この提言が、同選抜に認定されました。

